



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- ・これまでに、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村において特定復興再生拠点区域が認定されました。その後、家屋等の解体・除染等の実施が概ね完了し、令和5年11月30日に富岡町の点・線拠点の避難指示が解除されたことをもって、特定復興再生拠点区域の全てにおいて避難指示が解除されました。
- ・令和5年9月に大熊町、双葉町の一部の地域において特定帰還居住区域が認定され、令和5年12月より家屋等の解体・除染等を実施しています。

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・仮置場等総数1,372箇所のうち、18箇所では除去土壌等を保管中、1,354箇所では搬出が完了し、1,195箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、12月末時点で、約1177.3万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、12月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器22,381個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2023年12月末時点で、約1,375万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、12月末時点で契約者数1,883人、面積約1,296haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・特定帰還居住区域の解体申請を受付中（2町）です。
- ・被災家屋等について、11月末時点で、約18,600件の解体申請を受付済であり、約17,800件を解体済です。
- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、11月末時点で、約339万トンの搬入を完了しました。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の焼却処理状況

- ・11月末時点で、約148万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・10月末時点で、296,375袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。
- ・特定廃棄物埋立処分施設への特定廃棄物の搬入は、10月31日が最終搬入日となり、無事終了しました。

○クリーンセンターふたばの埋立状況

- ・12月末時点で、4,712袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（12月実施）

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、専門家派遣を4回、住民セミナーを25回、車座意見交換会を1回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を13回、移動展示を5回（5日）実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を3日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用し、仮置場の現状回復後の放射線測定を9台日実施しました。

○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・今年度の捕獲数は、12月末現在でイノシシ485頭、アライグマ226頭、ハクビシン51頭となっています。